

伝統的住生活文化に関する教育・研究活動 ～畳を中心として～

教育学部 教授 正岡 さち

正岡研究室では従来より伝統的住生活文化に関する教育・研究活動を行って来ました。その中でも、主に日本の伝統的床材である畳を中心に取り扱いっており、地元の畳店さんとのコラボによる活動も行っています。

昨年度は、伝統文化理解を目的として、家庭科教育副専攻の学生達が畳の材料を使ってグッズを作成する1000時間体験学修活動を行いました。材料は地元の畳店さんから提供を受けました。作成したグッズは当該教員が参加した海外で開催された国際学会で配布し、簡単なプレゼンも行いました。

近年は、その活動から派生して、伝統文化であるとともに総合文化である「茶道」を授業に取り入れる活動も行っています。

これらの活動は、小学校・中学校・高等学校向けの家庭科の授業や、小学校教育専攻における「実践基礎C」や「教職実践演習」に活かされています。また、過去には、「ビビット広場」や「教員免許更新講習」等にも活かされています。

